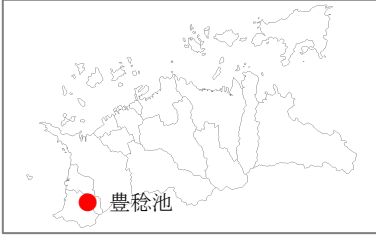


ほうねんいけ

豊稔池は、お城なん？ —歴史溢れる地域遺産—



法泉寺



豊稔池の自然放水

「とーさん、お城見に来たん？」と六歳になる息子がいつものように質問攻めを始めた。「滝が作れる百階建てのレンガのお城やなー」と子供らしい発想で続いた。

城(豊稔池)の直下に立ち、その姿を見上げると、アーチ状の止水壁が複数連なり、中世ヨーロッパの古城を思わせ、見る人にもその風格を漂わせる。反り立つ城壁に圧巻され、顔を上げると同時に開いた口が開いたままになってしまいう程である。ここは、ため池百選にも選ばれている日本最古の石積式ため池で、国の重要文化財にも指定されている。

「いつ誰が作ったん？」と、滝(サイフォン)から流れ出る放水)の音にかき消されながら矢継ぎ早に次の質問が耳に入ってきた。

記録によると、大正十五年に着工して、わずか三年八月後の昭和四年三月に多くの労力を注ぎ完成したとのことである。

豊稔池のユル抜きは、毎年七月中下旬に行われている。また、池への流入量が多くなった時には、この写真のように自然放水が見られ、プロアマを問わず多くの写真愛好家がこの地に足を運んでシャッターを切っている。

「大人になったら僕も百階建ての家を建てるけん楽しみにしてっとなー」と語りかけてくる言葉に、頼もしさを感じつつ、この歴史溢れる素晴らしいため池に親子で触れることができたら良かったと思えた。

豊稔池の上流には、弘法大師に纏わる「法泉寺」があり、十一月にはもみじ祭りが開かれるほど見事な紅葉を見ることが出来る名所として有名です。また、豊稔池の横で毎月、第三日曜日に開かれる「やまびこ市」では、地域の農産物などの販売も行われています。皆様も是非ご家族で訪れてみてはいかがでしょうか。

(西讃土地改良事務所)



第三日曜日に開催される「やまびこ市」



高品質な野菜を格安で販売！



豊稔池のユル抜き